

Sustainable Report No.166

笑いが笑いを生む

Human Network
OGAWA



サステナブルレポートとは、サステナビリティを指標に社会課題や環境課題からテーマを選定し、それらの背景・ソリューション事例・将来への展望などを考察する独自の調査報告書です。
小川電機グループは、全従業員ひとりひとりが本レポートを作成・発信する取組みを行っています。

■ 課題の現状／経緯／影響

- 日本の達成度は世界19位、6目標が最低評価。SDGsの**内容認知度が低い**のではないかと。
- その背景として、学校や職場でSDGsを**学ぶ機会が少ない**ことが挙げられる。
- 現状2030年までに**達成できる目標はなく**主に、ジェンダー、気候変動、消費責任に課題があるため、男女の資金格差、極端な天候、海面上昇、生態系の変化などに影響が生じる。

■ 学校・職場での講義の有無

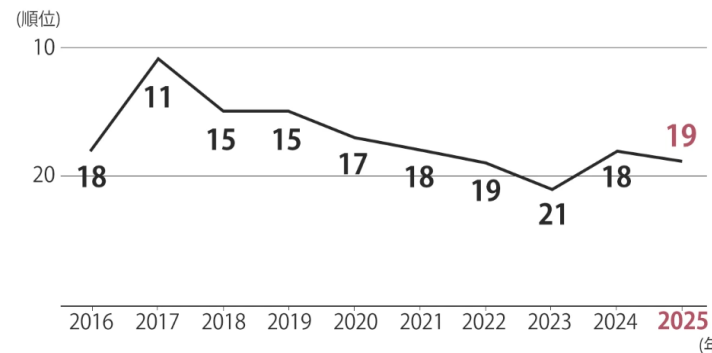
〈図3〉学校や職場でのSDGsの授業・講義・研修の有無 (単一回答) ※ベース: SDGs認知者



出典：Cross Marketing

■ 日本SDGs達成度ランキング

日本のSDGs達成度ランキングの推移



出典：The Asahi Shimbun SDGs SCTION

▶ NEXT : 吉本興業が広げるSDGs

■ 実行者／解決事例／残る課題

- 国連広報センターとの出会いをきっかけに、吉本興業がエンターテインメントを提供する企業として、社会的な役割を果たす必要があると感じ、**広報活動を始める**。
- SDGs漫才やコント、総勢70名の芸人がSDGsの目標を誰もが共感できる身近なテーマとして、**楽しみながら理解を深める**ことができるショート動画などを公開し普及活動を行っている。
- 課題は、アクションにつなげるということである。認知だけではなく、**行動変異**までつなげられるアクションを考える必要がある。

■ 普及活動をする吉本興業



出典：大阪環境産業振興センター

■ SDGs啓発ムービー



出典：吉本興業

▶ NEXT : 笑いを届け続けることができる世の中へ

■ 残る課題の原因／理想／企業施策

- エンターテインメント業界が**直接SDGsに絡むのが難しい**という点。なぜなら、製造業やエネルギー業界のように、数値で成果を示しにくいという理由から、SDGsとの関わりが見えにくい。
- アクションにつなげることによって、食べたいものを食べて、誰もが安全で暖かいところにいられる世の中を作り、**みんなが笑って過ごせる日々**が理想である。
- これからは周知から行動へと進めていくために、いろいろな分野の方々と意見交換をしながら、パーソナルシップを組み、アクションを起こしていきたいと考えている。

■ 本部での紙ごみを使い作るトイレトーパー



出典：吉本興業

■ 東京大学との特別事業



本レポートをご覧いただき、ありがとうございました

■ 参照・引用資料

- Cross Marketing, 「SDGsに関する調査2025年認知・興味関心編」, 2025年6月24日<https://www.cross-m.co.jp/report/20250624sdgs>
- 吉本興業, 「吉本興業のSDGsへの取り組み」, 2025年6月23日<https://www.yoshimoto.co.jp/sdgs/>
- 大阪環境産業センター, 「SDGsの宝箱」, 2026年01月19日https://www.ecoplaza.gr.jp/sdgs_t_company/15_yoshimoto/
- 朝日新聞, 「SDGs達成度ランキング」, 2025年6月24日
<https://www.asahi.com/sdgs/article/15860623?msocid=0a81c5ec111a6ca93be4d05710c86d1f>
- Re就活キャンパス, 「SDGsに貢献する仕事」, 2024年10月30日<https://asahi.gakujo.ne.jp/research/sdgs/detail/id=3980>

■ サステナブルレポートに関するお問い合わせ先



小川電機株式会社

〒545-0021 大阪府大阪市阿倍野区阪南町2丁目2番4号

tel:06-6621-0031(代)

- 本レポートに掲載された内容は作成日における情報に基づくものであり、予告なしに変更される場合があります。
- 本レポートに掲載された情報の正確性・信頼性・完全性・妥当性・適合性について、いかなる表明・保証をするものではなく、一切の責任又は義務を負わないものとします。
- 本レポートの配信に関して閲覧した方が本レポートを利用したこと又は本レポートに依拠したことによる直接・間接の損失や逸失利益及び損害を含むいかなる結果についても責任を負いません。
- 本レポートに関する知的所有権は小川電機株式会社に帰属し、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。